

金ケ崎町立金ケ崎中学校 令和6年度「まなびフェスト」

【学校で取り組む「まなびフェスト」】

学校教育目標	英知 基礎・基本を大切にし、学び続ける生徒	敬愛 自らを愛し、他への敬いを忘れぬ生徒	鍛錬 常に心と体を鍛え、修練に励む生徒
まなびフェスト	○「わかる」から「できる」授業の実践に努め、主体的に学び続ける生徒の育成を目指す。 ○「英語教育の町」の取組で培った力を発揮できる生徒の育成を目指す。 ○小中及び中高の学習支援の連携を図り、学習習慣の確立を目指す。	○自分自身を大切にし、他を思いやり、あたたかい人間関係を築くことができる生徒の育成を目指す。 ○強い志を堅持し、粘り強くやりぬく生徒の育成を目指す。	○自他の生命を尊重し、心身を鍛える生徒の育成を目指す。 ○目標に向かって、計画的に取り組む生徒の育成を目指す。
具体的な取組	①授業に見通しと振り返りの場があり、主体的・対話的深い学びの充実が図られる授業実践に努めます。	①日常的な生徒活動において、主体的・協働的な取組を促進するとともに、教育相談やQ.U.等を有効に活用し、居心地の良い学級づくりに努めます。	①定期教育相談の実施と諸調査の有効活用により、困りや悩みの把握とその解消に向けた支援に努めます。
	②基礎・基本の定着とその活用を図るため、授業での評価や家庭学習課題に、諸調査の問題等の積極的な活用を努めます。	②キャリア教育・復興教育等の体験活動等を通して、進路設計及び人生設計に役立つ指導に努めます。	②安全や健全な心身の成長に向けた啓発的な指導の機会を積極的に設け、生徒の事故防止及び健康増進に努めます。
	③授業と家庭学習が連動する学習習慣の確立に向け、生徒が計画・実践する主体的な取組を促進するとともに、学習の推奨及び学び方の指導に努めます。	③日常の諸活動及び行事等において、互いの成長を認め合い、あたたかな人間関係の構築に努めます。	③部活動の奨励と完全休養日の設定を行い、成長期にある生徒の健康維持に努めます。
	④諸調査の結果を踏まえた、積極的な授業改善に努めます。	④特別の教科道徳の計画的な実践と評価の活用を努めます。	④生徒自身で健康管理に努めるように指導するとともに、健康診断の結果をもとに、治療促進等を促します。
	⑤各種検定受検の取組を促進します。	⑤読書活動の推進に努めます。 読書時間の確保 多読・熟読の推進 図書館蔵書整備	⑤部活動の活動計画を立案し、合理的な活動に努めます。また、時間の有効活用を努めます。
目標値	①学習意識調査により「授業がわかる」プラス傾向90%以上を目指します。	①毎日、元気に楽しく学校生活を送っている生徒85%を目指します。	①教育相談を定期的に実施し、個々の生徒および学級学年集団の実態を適確に把握します。
	②諸検査において、全教科が県平均及び全国平均以上を目指します。	②地域と連携した体験活動等を実施し、その成果を発表します。 1年：農業体験等 2年：事業所WS、工場見学等 3年：地域探訪（まち歩き） 希望者：医療福祉体験等	②交通安全教室、薬物乱用防止教室、情報モラル教室、思春期講座等を実施します。
	③家庭での生活リズムを整え、家庭学習時間が90分以上の生徒65%を目指します。	③日常の活動及び行事等で意欲的に取り組む生徒90%を目指します。また、学期ごとに授業参観日等を設定し、生徒の活動の様子をご覧いただけます。	③週に2日（毎週月曜日及び土曜日または日曜日）を部活動休養日とします。また、時間の有効活用ができるよう支援指導を行います。
	④諸調査の結果を、保護者と確実に情報共有し、家庭との連携に努めます。	④授業参観日等において、道徳授業公開を年1回以上実施します。	④治療勧告等をもとに、生徒80%が受診することを目指します。
	⑤英検受検者の割合を全校の90%以上、3年生の英検3級合格45%以上を目指します。	⑤朝読書を継続し、月3冊以上の本を読むことを推奨します。	⑤部活動の活動方針及び適切な活動内容を検討します。また、活動時間は平日2時間以内、休業日は3時間以内とします。

大志拓路 大いなる志を実現するため、路を切り拓き続ける人の基盤育成を目指す

【家庭でご協力を頂きたい「まなびフェスト」取り組み】

学校教育目標	英知 基礎・基本を大切にし、学び続ける生徒	敬愛 自らを愛し、他への敬いを忘れぬ生徒	鍛錬 常に心と体を鍛え、修練に励む生徒
家庭での 具体的取り組み	①計画的な家庭学習時間の確保と質の向上に向け協力を。	①キャリア教育等の体験活動から、進路設計について親子で話し合う機会を設ける。	①早寝、早起き、朝ご飯と元気な挨拶を励行する。
	②各種調査等の結果を親子で確認し、次の目標を設定し、学習への意欲付けを図る。	②読んでいる本について家庭で話題にし、読書を推奨する。	②家庭におけるメディアの適正な利用について話し合うなどして、家庭における時間の有効活用を支援する。
	③英検等の資格取得を奨励し、その取り組みに協力を。	③授業参観等に参加し、共に成長を確認する機会を大切にする。	③治療勧告をもとにした受診と治療に努める。